

平成26年度第1回北杜市図書館協議会会議録

- (1) 会議名：平成26年度第1回北杜市図書館協議会
- (2) 開催日時：平成26年5月14日（水）午後1時30分～午後4時15分
- (3) 開催場所：北杜市金田一春彦記念図書館 SVホール
- (4) 出席者：協議委員 柴山 裕子／小澤 一／下條 順子／竹田 和美／須田 由美子
平出 香織／坂本 妙子／齊木 久壽
事務局 浅川教育次長・三井図書館長／長谷川 誠・小野 まどか
植松 広樹（総務担当）／浅川 さつき（明野図書館）
鈴木 真由美（すたま森の図書館）／長屋 恵（たかね図書館）
高野 裕子（金田一春彦記念図書館）／進藤 由美子（小淵沢図書館）
鈴木 規（ライブラリーはくしゅう）
齊木 紀恵子（むかわ図書館）
- (5) 議題：
 - (1) 平成26年度事業計画と予算について
 - (2) 北杜市図書館の開館時間等（案）について
 - (3) 金田一春彦記念図書館名誉館長について
 - (4) 北杜市図書館ボランティア育成事業（案）について
 - (5) 映画「じんじん」の北杜市上映について
 - (6) 各図書館からの近況報告について
 - (7) その他
- (6) 公開・非公開の別：公開
- (7) 該当なし
- (8) 傍聴人の数：0人
- (9) 審議内容
 - 1) 平成26年度事業計画と予算について
 - *事務局より平成26年度事業計画のなかから全体事業と今年度から新しく追加された事業について報告
 - ・ブックスタート事業については、セカンドブックとサードブックのプレゼント本の購入費が26年度予算からは削減されているが、セカンドブックについては昨年までに購入した図書の残りを配布している。サードブックについては、入学の前年度の予算で図書を購入し翌年度の4月の入学時にプレゼントしているので、今年4月に入学した新1年生には昨年購入した図書をプレゼントした。
 - ・ことばの学校は8月に開催。9月には県立図書館の阿刀田館長の出張トークを開催。10月の読書週間には市制10周年を記念して同じく開館10周年を迎

- える蕨内正幸美術館と共催で、全館で蕨内正幸原画展を開催予定。
- ・各館では、各館の蔵書の特色を活かしたイベントをいくつかの館で開催する。
 - 明野図書館・・夏休み環境教室、環境月間イベント
 - すたま森の図書館：「農の学校」
 - たかね図書館：八ヶ岳講座
 - 金田一春彦記念図書館：方言教室
 - ライブラリーはくしゅう：水のひみつ講座
 - むかわ図書館：桜の講演会
 - ・教育センターなど他部署とのコラボイベントなども進めている。
 - ・26年度当初予算については、経常経費を前年度の98%以内に抑えるという市の方針のもと、経費を削減しつつ利用者へのサービスの向上を目指し予算編成を行った。
 - ・予算総額は113,430,000円。内訳は臨時職員とアルバイトの賃金が全体の61%。図書等資料購入費が全体の12%。維持管理費が20%。残りの7%がイベントなどの企画事業費、消耗品などとなっている。
 - ・昨年までとの違いが大きい部分については、小淵沢図書館が耐震化工事に伴い6月から休館するため、アルバイトの賃金が27万円減額。報酬については、金田一図書館名誉館長の報酬を65万円計上。ブックスタート事業については、セカンドブックとサードブックでの図書プレゼントの廃止により、82万円減額。金田一春彦ことばの学校への補助金については、昨年、一昨年については国文祭事業となっていたため、市で予算をもっていたため補助金は出していなかったが、今年度からは主催が実行委員会に戻ったので、実行委員会への補助金90万円を計上している。

委員：小淵沢小学校への朝読書が開催日未定になっているが、なぜか。

事務局：小淵沢小学校から小淵沢図書館に朝読書に来てもらいたいとの依頼があるが、曜日、時間などの詳細が決まっていないため、開催日未定とした。

委員：各館がテーマを持って図書の分担収集をしているという話があったが、各館の分担収集のテーマを教えて欲しい。

事務局：【明野】環境 【須玉】農業 【高根】高山植物、山岳、馬、野鳥 【ながさか】男女共同参画 【金田一】ことば 【小淵沢】鉄道 【はくしゅう】名水、水 【むかわ】米、桜 である。

委員：小淵沢図書館の休館に伴い、賃金が削減されるとあったが、臨時職員も削

減されるのか。

事務局：削減されるのはアルバイトのみで、臨時職員は継続して雇用。臨時職員は小淵沢支所において、資料整理を行いながら、図書の返却と予約本の貸し出しを行う。

委員：金田一春彦ことばの学校への補助金は、国文祭事業の前はどのくらい出していたのか。

事務局：平成 22 年度が 100 万円、平成 23 年度が 96 万円である。

委員：補助金以外にも、協賛金を集めて事業を行っているという話を聞いているが、全体でどのくらいの予算で事業を行っているのか。

事務局：23 年度でみると総事業費 1,681,000 円。うち補助金が 96 万円、協賛金が 65 万円、残りは記念品などの販売した売上などである。主な支出項目としては、報償費が 57 万円、印刷 50 万、委託料が 20 万ほどなどである。

委員：ことばの学校に毎年のように参加させていただいているが、地域の方で参加している人の割合がとても少ないように思う。毎年実行委員の方々がプログラムも大変工夫されていることは伝わるが、地域の方々に来ていただけるような内容が一日のうちのどこかにもう少し組み込まれるといいのではないか。

事務局：毎年ことばの学校の実行委員の方が苦勞をして協賛金を集めているものの、ことばの学校実行委員会の運営が市からの補助金頼りになっている面はある。前回のことばの学校実行委員会のなかでも今後長く事業を継続していくためにも、この状況について検討をしていかななくてはいけないという意見もでていいる。昨年は、メモ用紙や一筆箋を作成し販売するなど、補助金や協賛金以外でも収入を得られる工夫もはじめていいるが、図書館事業も一部削減しているなかでもあり、さらに自主財源の確保ができるように実行委員会でも検討していく。また事業内容についても、地域の方々にもっと足を運んでもらえるような内容について、実行委員会で検討していきたい。

委員：臨時職員の賃金が 61 万円減額されているが、どうしてこのような減額となったのか。

事務局：25 年度までは図書館の臨時職員については毎月 22 日勤務としてきたが、本庁などの臨時職員は、正職員と同じく祝日なども休みとなっており毎月 22 日より少ない勤務体系となっている。今年度については本庁の臨時職員と勤務日数を合わせるかたちで勤務日数を減らしたため、賃金が減額となっている。

委員：本庁の臨時職員と勤務日数を合わせるという理屈は分かるが、図書館業務

は専門性があり、誰でも出来るものではない。以前の図書館協議会でも臨時職員の賃金をアップしてあげて欲しいとの意見が出ていたかと思う。図書館は臨時職員がいて成り立っており、なるべく臨時職員の賃金については手をつけないようにしてもらいたい。

事務局：働く人（職員）あつての図書館であるということは認識している。これ以上勤務日数が少なくならないようにしていく。有資格者については、一般の臨時職員よりも日給が高く設定されており、市としても司書の専門性については認めていることについてはご理解いただきたい。

委員：名誉館長の業務について、説明を願いたい。

次長：名誉館長設置については、図書館での講座や資料整理へのアドバイス以外にも、市制報告会などでの講演などもお願いしていきたいと考えている。また市内外への北杜市を売り込んでいくアピール効果も大きいと考えており、図書館以外にも市の施策全体への影響を考えれば、決して高い予算ではないのではないか。

市の財政は大変に厳しい状況にある。図書館だけが予算を減らしているわけではないことはご理解いただきたい。平成27年から32年までに普通交付税が総額で42億円減らされることが分かっている。こうしたなか温泉施設などは、入浴料の値上げをお願いしている。図書館については8つの図書館を存続させていくこととなっており、そのためにも削減できる部分は削減をしていかなければならないが、必要な事業については予算措置もしていくので、新たな事業についても提案していただきたい。

委員：図書館事業はもともとお金を生み出すところではなく、お金をかける事業。そのかかるお金をどのように配分してくことが市民のためになるのかというのを考えて予算を組んでいただきたい。

2) 北杜市図書館の開館時間等（案）について

*事務局より資料についての説明

- ・前回までの案では、開館時間は基本的に全館午前10時とし、閉館時間を金田一と長坂は午後7時まで、他の館は午後6時までとしていた。
- ・また子どもの居場所を作るため、夏休みの期間については、明野とむかわの2館を除く6館については開館時間を午前9時に早めることについては意見がまとまっていた。
- ・前回金田一図書館に定休日を設ける案を提示していたが、中央館としての機能が果たせなくなるのではとの思いもあり、定休日をなくし、金田一の休館日については現行どおり、月末休館日と年末年始と蔵書整理期間のみとする案を提

示。

- 委員：週一日の定休日を設けたときに人件費はどの程度削減になるのか。
- 事務局：今回の事務局案で試算した場合には、アルバイトの人件費が95万円ほどの削減になる。これに金田一図書館に定休日を入れると、50万円弱ほどの削減が出来るので、併せて150万円ほどの削減が出来る。
- 委員：アルバイトの賃金が減ることで、各館の臨時職員の負担が増えないか。職員が図書館に1人になってしまうことはないのか。
- 事務局：職員体制については、むかわや明野についても、基本的には2人以上の勤務になっている。1人が会議などで外にでるときはアルバイトに入ってもらおうようにしているが、どうしても入れないときには、一人体制になってしまうことがある。
- 委員：臨時職員が館に一人にいることは大変な負担になると思う。人件費を削減することはあってもいいと思うが、臨時職員の負担が増えないようにしてもらいたい。
- 委員：アルバイトは特定の館でしか働けないのか。他の館で人が足りないときにその館に手伝いで入るような体制はないのか。
- 事務局：アルバイトについては基本的にはある一つの館もしくは掛け持ちで二つの館で働いてもらっているが、他の館で人が足りないところにいってもらうこともある。各館がしっかりまわっていくようにアルバイトの配置もしていきたい。
- 予算の増減の比較表については、あくまでも開館時間を検討するうえでの試算であるので、今後開館時間変更の方向性が定まれば、そのなかで各館が運営できる人員配置についても再度検討していく。
- 委員：特に臨時職員が2人体制の館については、一人体制にならないような配置をお願いしたい。
- 委員：金田一の定休日をなくすことについては賛成である。
- 委員：今後、また予算の削減が求められ、次に金田一の開館時間の変更を考えざるを得ないのであれば、この機会に金田一についても定休日を設け、北杜市図書館の開館時間はいじらないという方向にしたほうがいいのでは。金田一を常に利用していない人から見ると、金田一だけ定休日がないのは不公平を感じている人もいる。
- 委員：人件費を削減した部分の予算は、図書館で使うことができるのか。
- 事務局：削減した部分は図書費など図書館で使うことができる。
また、名誉館長の報酬については、通常予算と別の特別枠で予算をとつ

ており全体の予算のシーリングの対象にはなっていないので、名誉館長の予算措置をしたために、他の予算が削減されたということではない。

委員：名誉館長の報酬については、今年度は特別枠だったが来年度はどうなるのか。どうして名誉館長を設置することになったのか。経緯を知りたい。

次長：市内外に北杜市をアピールしていただきたいということで名誉館長をお願いした。予算については来年度も特別枠のなかで予算措置していきたい。

議長：金田一の定休日を設け335日開館することについては異論はないか。

委員：ない。

司書：館の運営面から見ると開館時間を見直しアルバイトの人件費が削減されるので、今働いてもらっているアルバイトさんには、これまでよりも少ない日数で働いてもらうことになる。ただし夏時間時間を設けることで、夏だけ2交代制になるので、このときだけは多く働いてもらうことになる。アルバイトさんも生活があるなかで、このような体制で働いてくれるのか不安なところもある。

委員：金田一の定休日なしについては概ね合意が得られたので、夏時間を設定することについて、運営面などからもう一度事務局で検討してもらいたい。

事務局：検討する。

3) 金田一春彦記念図書館名誉館長について

*事務局より説明

- ・名誉館長の設置については、すでに報告済み。
- ・館長の業務、事業の内容について説明。
- ・名誉館長の業務は、金田一で4回、他の館で4館でのことばに関する講座の開催
- ・金田一春彦先生、平山輝男先生からの寄贈資料のなかに未整理の資料があり、今年度小淵沢図書館の休館中に小淵沢図書館の職員が整理作業を行うこととなっており、この整理作業への助言をいただくことになっている。
- ・また寄贈資料のなかにはお二人の先生が全国各地で方言を採録したテープが残されている。これらはアナログ資料のためいつ壊れてしまうか分からない状態にあるので、来年度以降テープ資料をデジタル化し保存・活用していきたいと考えている。膨大な資料があるので、優先順位をつけながらデジタル化を進めていくが、名誉館長にはこれらの資料のデジタル化への優先すべき資料の選定についてもアドバイスをいただくことになっている。
- ・また第1回目のことば楽終了後には、各館の責任者との懇談会を持っていただき各館の状況を知っていただいたり、市政報告会など市の他の事業にもお

手伝いをいただく予定である。

- ・名誉館長に就任していただくことで、金田一のことばの資料を活用することができ、北杜市を大きくPRすることができると考えている。

委員：金田一先生・平山先生の未整理資料はどれくらいあるのか。

事務局：データ化されていない未整理のものと、データ化はされているがブックコートがかけられていないなど未装備のものと合わせると、金田一先生と平山先生の資料を合わせてダンボール箱で100箱ほどある。未装備の資料のほうが多数を占めている。未整理の資料については、金田一先生の資料はほとんど整理されているが、平山先生の資料のなかに、原稿や手紙などこれから整理を進めていかなければいけないものが多い。

委員：装備については司書だけでできることなので、真澄先生にやっていただくのは未整理資料の整理作業への指導、助言ということでよいか。

事務局：そのとおりである。

方言のテープなど視聴覚資料については、どれを優先的にデジタル化するかを専門家の目からみていただきたい。

委員：名誉館長にはどのくらいの日数、図書館にきてもらう予定か。

事務局：8回のことば楽のイベントとことばの学校実行委員会には定期的に来ていただくことになるが、月何日勤務などという決まりは設けていない。

委員：講座が土曜日開催と決まっているので、土曜日が都合が悪い人は講座を受けることが出来ないので、講義録のようなものを作って、HPなどで公開するなど講座に参加できない方のためにも還元できるような方法を検討してもらいたい。

事務局：検討する。

4) 北杜市図書館ボランティア育成事業（案）について

*事務局より説明

- ・今年度から、北杜市図書館ボランティア育成事業を展開していきたい。
- ・主な事業内容は、北杜市図書館ボランティア活動要綱の制定、ボランティア研修会の開催をするとともに、今年度は北杜市図書館ボランティア連絡協議会（仮称）の設立をし、ボランティア間の連携、情報交換ができる体制づくりを行っていきたい。
- ・活動要綱をこれまで定めていなかったが、ボランティア活動要綱を新たに定め、図書館ボランティアを市政の中に位置づけていきたい。
- ・5月30日には図書館ボランティア代表者会を行い、ボランティア連絡協議会の設立へ向けて、各団体の代表から意見を聞くこととなっている。設立する

方向で意見がまとまれば、準備会を開催し、9月には連絡協議会を立ち上げていきたい。

- ・活動要綱については、定例教育委員会に報告し、例規審査会、条例審査会などでの検討を経て、制定していく。
- ・ボランティアの活動内容については、図書館の運営に関すること、図書館の美化に関すること、その他館長が認めることとしている。さまざまな活動を包括できるような範囲の広い記載とした。
- ・現在、200人弱の方が図書館ボランティアとして活動していただいているが、これまで市の要綱等で位置づけられていなかったもので、今回要綱を策定し、図書館ボランティアの存在と活動を市のなかで位置づけしていきたい。

委員：ボランティア団体の連携を強化していくことには賛成。

委員：活動要綱はボランティアの声をまとめたものではなく、事務局でつくったものか。

事務局：事務局でつくったものである。

委員：図書館ボランティアとして登録しているのが21団体あるということだが、どのような団体があるのか？

事務局：子供向けの読み聞かせをしている団体や、大人向けの朗読をする団体、手作り絵本を作る団体など多岐にわたる。

委員：自身が読み聞かせのボランティアをしているが、読み聞かせをしている他のグループとの話し合いの場は必要であると感じている。

委員：利用者に対してサービスを行うボランティアも必要だが、例えば書架整理やブックコートをするなど図書館の日常業務を手伝い、図書館職員の負担を減らすようなボランティア活動のほうが重要ではないか。

委員：図書館ボランティアといっても、会によって活動内容が大きく違うので、読み聞かせなら読み聞かせ、朗読なら朗読といったグループで集まるなら情報交換もできるが、全体で集まった時に有意義な情報交換ができるか疑問もある。団体に呼びかければ連絡協議会を作ろうということになるとは思うが、内実が伴うのか。本当に横の連携を欲しいと思っているボランティア団体がどれくらいあるのか危惧もある。

司書：ボランティアも団体によって、やっていることも違えば思いもさまざまであるので、連絡協議会を作るといった時に、全部が足並みがそろわないのではないかと心配をしている。

次長：これまでと同じように、ボランティアは各館で掌握し、それぞれが活動している状況が良いのか、連絡協議会を作り、図書館全体としてボランティアの活動も掌握しながら運営していくほうが良いのかを検討してい

ただきたい。事務局からは9月に連絡協議会の設立というスケジュール案が出されているが、このスケジュールにこだわる必要はない。5月30日にボランティアの代表に集ってもらえる機会があるので、それぞれの団体の意見を聞いたうえで、次回の協議会でまた検討していただきたい。

委員：ボランティア研修会が予定されているが、どのような研修を行っているのか？ボランティアとして活動するうえでかならず受けなければいけない研修があるのか？

事務局：昨年度であれば、アナウンサーの方をお呼びして発声の基礎を学ぶ研修会を行ったように、現在行っている研修は、すでにボランティアとして活動している人たちがスキルアップできるような研修を行っており、図書館ボランティアとして活動するうえで必修のような研修があるわけではない。

ただ、ボランティアとして活動されている方の中には、もっとこういう研修をしてもらいたいという意見や、委員のご指摘のようにボランティアを始めるときに基本的なことを学ぶ研修をやってもらいたいという意見もあるかも知れない。事務局としては、連絡協議会を作ること、こうしたボランティアからの意見を聞く場を作っていきたいと考えている。

委員：ボランティアが意見を聞いてもらうという場があることは大事なことである。ボランティア研修会もよい内容をやってくれているが、参加人数も少ないので、連絡協議会のような組織が関わっていくことで、より充実した研修なども可能となるのでは。

委員：どうしても組織を作ると代表を立てなくてはならず、そこに抵抗もあるかもしれない。まずは、代表者会を何度か重ねていくなかで、横の連絡を作っていきましょうという話がでてくるならいいと思うが、一度だけ代表者会を開いて連絡協議会を作るというやり方では上手くいかないのではないか。要綱についても一度伏せておいて、ボランティアが顔を合わせる場所をつくりましょうというところから始めるといいのではないか。

委員：個人で活動しているボランティアの方にも参加できる情報交換の場としてもらいたい。

司書：人件費が削減されていくなかで、図書館の日常業務をお手伝いして頂けるボランティアを養成していただきたい。

事務局：5月30日の代表者会でまず意見をうかがい、スケジュールにはこだわらず、時間をかけながらボランティアの方たちと話し合いを重ねていく

なかで、一番良い方向で連絡協議会が設立していけるようにしていきたい。

5) 映画「じんじん」の北杜市上映について

*事務局より説明

- ・俳優の大地康雄さんが企画・主演をし、絵本の読み聞かせを通じた親子の絆や地域づくりをテーマにした映画『じんじん』を北杜市でも上映したいと声があったため、3月に市内で読書推進や青少年育成、地域づくりを行っている団体の責任者を招待し試写会を行った。
- ・試写会の終了後意見交換会では北杜市でも上映をしたいという意見の一致を見たため、試写会に参加していただいた方々に再度呼びかけ、4月29日に映画『じんじん』北杜市上映実行委員会設立準備会を開催した。
- ・準備会では、さらに多くの方々に呼びかけて、再度試写会を行い賛同者の輪を広げたいと実行委員会を立ち上げていくこととなった。
- ・協議会委員の中には試写会に参加していただき、実行委員会の発起人になっていただいている方もいる。まだ観ていない方については、2回目の試写会の案内をするので、ぜひご覧いただきご協力いただきたい。

委員：3月の試写会で観たが、素晴らしい映画でしたので、ぜひ見て頂きたい。
上映の際にはチケット販売にもご協力いただきたい。

6) 各図書館からの報告について

●全体

- ・ブックスタート、セカンドブック、大人のための朗読会「やまびこ」は定例で毎月開催。
- ・名誉館長による講座は5月、6月、7月は月1回開催。
- ・ことばの学校実行委員会も毎月1回開催。

●明野図書館

- ・明野ファンクラブや地域委員会などの協力を得て、多くのイベントを開催予定。
- ・特色を活かしたイベントとして6月に環境に関する講座を予定。環境課で行っている講師派遣事業を活用して開催。

●すたま森の図書館

- ・子ども読書週間の事業として、ぬいぐるみのお話し会、お泊り会を開催した。ぬいぐるみたちが図書館の中を探検している様子を写真を撮って渡してあげた。
- ・南部教育センターの共催で高齢者学級を対象に美文字教室を開催予定。文化祭への出展を目指す。
- ・6月にはハガキづくりのイベントを開催予定。

- たかね図書館
 - ・ 4月に「お話しのお話の国へようこそ」を開催した。
 - ・ 八ヶ岳講座では青年小屋を経営しエベレスト登頂に成功している竹内さんに来ていただき、エベレスト登山と救助活動について講演していただく。
 - ・ 4月には学校図書館との連絡会を開催し情報交換を行った。
- ながさか図書館
 - ・ 読書会を毎月開催。
 - ・ 6月7月子ども工作教室。
 - ・ 5月には町内学校図書館との連携会議を予定。
- 金田一春彦記念図書館
 - ・ 5月東部教育センターと共催で湧水講座を開催予定。
 - ・ 5月20日に読書会を開催。これまではボランティアのなかだけで行っていたが、今年度からは一般募集をして行う。
 - ・ 7月にいずみの杜まつり、戦争特集を開催予定。
- 小淵沢図書館
 - ・ 4月にお父さんによる読み聞かせを行った。大勢の前で読み聞かせを行うのは初めてという6人のお父さんが読み聞かせをしてくださり、和やかな会となった。
 - ・ 教育センターの耐震改修工事のため6月1日から休館となる。当初は2月末までとなっていたが、これは工期であり3月22日まで閉館となる。この間、小淵沢支所で返却と予約本の貸し出しを行う。
 - ・ 休館になるが、保育園での読み聞かせや小淵沢小学校の朝読など外に出て、読書推進の活動は続けていく。
 - ・ 8月1日のお化け話は、帝京短大の体育館をお借りして行う。
- ライブラリーはくしゅう
 - ・ 定例のお話し会への参加者が少ないので、外に出て月1回ほどコアラームなどでの話し会を行っていく予定。
 - ・ 7月には「甲州弁を楽しもう」、「手作り絵本教室」に開催予定。
 - ・ 山梨環境研究所から講師を招き、水に関する講座も予定している。
- むかわ図書館
 - ・ 6月にはむかわ図書館活性化会議との共催で「エレクトーン meets クラシック」を、7月には桜に関する講演会などを開催予定。
が変6月には変わったこともあり、利用者が図書館に入りやすくなった。
 - ・ 6月の蔵書点検についても、むかわ図書館活性化会議が手伝っていただけることになっている。

委員：資料の記載がバラバラなところあるので統一してもらいたい。

委員：高根出身の窪田精という作家について、前回の会議の時に、購入できる本は購入を検討し、コーナーを設置するか展示をするなどしてほしいと要望したが、司書の方がさまざま調査をさせていただいており感謝している。

以上